

石川南部区域事後評価第2回第三者委員会議事概要

1．実施日 平成18年6月22日(木) 13:30～16:30

2．場 所 緑資源機構第1・2会議室

3．出席者

第三者委員	加藤 徹	宮城大学教授
〃	木村 美智子	東北文化学園大学助教授
〃	熊谷 宏	東京農業大学教授
〃	鈴木 浩	福島大学教授
〃	永木 正和	筑波大学教授

(敬称略、五十音順)

委 員	農林水産省農村振興局総務課設計技術指導官
〃	(独)緑資源機構顧問 ほか

4．議事の概要

(1) 事後評価結果の説明

区域の「事後評価結果(案)」について事務局より説明

(2) 第三者委員会の意見について

第三者委員会として意見のとりまとめが行われ、以下の意見等が提示された。

農業用道路は阿武隈山系の条件不利地域における基幹道路として、営農に多大な効果が認められるほか、集落間の連携や町村間の広域連携の役割を果たし、地域の生活や産業の活性化にも効果が認められる。

暗渠排水の整備を行った地区では乾田化により汎用化の基盤が整えられるとともに、排水路整備を行った地区では洪水被害防止効果が認められる。

認定農家が増加し、農作業の受委託が進み、高齢者農家をまきこんだ高収益型農業への芽生えが認められる。